



Hewlett Packard
Enterprise

HPE InfoSight for Servers

お使いになる前に

摘要

このガイドでは、HPE InfoSight for Servers の前提条件とセットアップ手順について説明します。本書は、サポートされている HPE サーバーを管理するシステム管理者を対象とします。

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Intel[®]、インテル、Itanium[®]、Optane[™]、Pentium[®]、Xeon[®]、Intel Inside[®]および Intel Inside ロゴは、インテルコーポレーションまたはその子会社のアメリカ合衆国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft[®]および Windows[®]は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Adobe[®]および Acrobat[®]は、米国 Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

Java[®]および Oracle[®]は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

UNIX[®]は、The Open Group の登録商標です。

すべてのサードパーティのマークは、それぞれの所有者に帰属します。



目次

概要.....	5
サーバーを登録する前の製品機能のプレビュー.....	7
アップロードされた AHS ログを使用して未登録サーバーにアクセスできる機能.....	7
Active Health System ログのアップロード.....	8
HPE InfoSight for Servers でのサーバーの登録.....	11
プロセスの概要.....	11
サーバーを管理するための前提条件.....	12
iLO Amplifier Pack のセットアップ.....	14
iLO Amplifier Pack のダウンロード.....	14
VMware ESXi を使用した iLO Amplifier Pack のインストール.....	14
Windows Hyper-V マネージャーを使用した iLO Amplifier Pack のインストール.....	15
Linux 上の KVM を使用した iLO Amplifier Pack のインストール.....	16
iLO Amplifier Pack の初期セットアップの実行.....	17
iLO Amplifier Pack へのログイン.....	18
インストールの確認.....	18
Midway サーバー接続の前提条件.....	18
iLO Amplifier Pack でのプロキシサーバーの構成.....	19
iLO Amplifier Pack によるサーバーの検出.....	20
HPE InfoSight の初回ログイン.....	23
HPE InfoSight でのクレームトークンの動作.....	24
クレームトークンの取得.....	25
iLO Amplifier Pack と HPE InfoSight のリンク.....	25
ネットワークの設定の構成.....	27
組織とユーザーの管理.....	28
組織管理.....	28
組織の作成.....	28
組織のマージ.....	29
組織名の変更.....	30
組織の削除.....	30
組織の情報の表示.....	32
組織の検索.....	32
ユーザーの管理.....	33
組織へのユーザーの招待.....	33
HPE InfoSight での組織からのユーザーの削除.....	34
Users ページのカスタマイズ.....	34
トラブルシューティング.....	35
iLO Amplifier Pack へのクレームトークンの追加を試みているが、トークンがすでに存在する.....	35
InfoSight とアプライアンスアップデート接続のトラブルシューティング.....	35
Invalid midway or DNS address. Check the network settings and retry.....	35
Failed to establish connection to midway server. Check the network settings (Proxy/ DNS) and retry.....	36



Invalid proxy address.....	36
Failed to establish connection to proxy server. Verify the proxy settings.....	36
Service not running. Enable/Re-submit the InfoSight Settings.....	37
Not Registered.....	37

Web サイト.....38

サポートと他のリソース..... 39

Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	39
アップデートへのアクセス.....	39
リモートサポート（HPE 通報サービス）.....	40
保証情報.....	40
規定に関する情報.....	40
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	41



概要

HPE InfoSight ポータルは、HPE がホストする安全な Web インターフェイスです。グラフィカルインターフェイスと予測デバイスサポートの自動化が提供されます。

HPE InfoSight は人工知能 (AI) を使用して環境を調査することで、操作を簡素化します。この調査は、サイトからデータを収集することで実行されます。データは、データセンターの自己管理、自己回復、および自己最適化を可能にするための基礎となります。

HPE はこの新しいデータパラダイムの先頭に立っています。10 年前、HPE はインフラストラクチャスタック全体にセンサーを搭載したシステムの設計を開始しました。収集された数兆のデータポイントを HPE InfoSight で分析できるため、お客様は収集されたデータからの大局的な学習によるメリットを得ることができます。AI はこのデータの能力を解放する鍵となります。

HPE InfoSight for Servers:

- ・ HPE InfoSight の機械学習と予測分析を、Active Health System (AHS) および HPE iLO のヘルスおよびパフォーマンス監視と組み合わせて、パフォーマンスを最適化し、問題を予測して防止します。
- ・ AHS からのセンサーデータとテレメトリデータを自動的に収集および分析し、インストールベースの動作から洞察を導き出して、問題の解決とパフォーマンスの向上に関する推奨事項を提供します。
- ・ HPE ProLiant、HPE Apollo Gen10、および Gen10 Plus サーバーをサポートします。HPE InfoSight は、HPE Edgeline コンバージドエッジシステム、HPE Moonshot、および HPE Synergy もサポートしています。

HPE iLO

HPE Integrated Lights-Out (iLO) は、サポートされる HPE サーバーのシステムボードに内蔵されているリモートサーバー管理プロセッサです。iLO によって、リモートの場所からサーバーの監視と制御が可能になります。iLO 管理は、サーバーをリモートで構成、アップデート、監視、および修復するための複数の方法を提供する強力なツールです。iLO について詳しくは、<https://www.hpe.com/servers/ilo> を参照してください。

Active Health System

AHS は、個人情報や、サーバーの操作によりサーバーに保存されたデータを収集することはありません。

AHS は以下の機能を提供します。

- ・ 数千を超えるシステムパラメーターの継続的なヘルス監視
- ・ すべての構成変更のログの取得
- ・ ヘルスおよびサービス通知の統合 (正確なタイムスタンプ付き)
- ・ アプリケーションのパフォーマンスに影響を与えないエージェントレスの監視

AHS は、ユーザーの経営、財務、顧客、従業員、またはパートナーに関する情報を収集しません。AHS について詳しくは、<https://www.hpe.com/servers/ahs> を参照してください。

iLO Amplifier Pack

iLO Amplifier Pack は、高度なサーバーインベントリおよびファームウェアおよびドライバーのアップデートソリューションです。iLO Amplifier Pack は、iLO 機能を使用して高速検出、詳細なインベントリレポート、およびファームウェアとドライバーのアップデートを有効にします。iLO Amplifier Pack は、サポートされている数千台のサーバーの迅速な検出およびインベントリを実行し、ファームウェアとドライバーをアップデートします。iLO Amplifier Pack は、環境から収集したデータを HPE InfoSight に渡します。iLO Amplifier Pack について詳しくは、<https://www.hpe.com/servers/iLOAmplifierPack> を参照してください。

HPE パスポート

HPE InfoSight は、HPE パスポート認証サービスを使用して、安全な Web サイトへのユーザーアクセスを許可します。認証に成功すると、HPE InfoSight サービスにアクセスできます。デバイスにアクセスするには、クレームトークンを iLO Amplifier Pack システムに配置します。HPE パスポートアカウントがない場合は、<https://www.hpe.com/info/insightonline> に移動して指示に従ってください。



サーバーを登録する前の製品機能のプレビュー

未登録のサーバーから Active Health System ログをアップロードして、製品機能の一部のプレビューを取得します。

アップロードされた AHS ログを使用して未登録サーバーにアクセスできる機能

Active Health System (AHS) ログがアップロードされた未登録のサーバーは、HPE InfoSight for Servers の機能の一部にアクセスできますが、すべての機能にアクセスできるわけではありません。サーバーを HPE InfoSight for Servers に登録して、HPE InfoSight for Servers のすべての機能へのアクセスを取得します。**Analyze Logs** ダッシュボードでアップロードされた AHS ログをクリックして、利用可能な機能にアクセスします。

次の表にリストされている機能について詳しくは、HPE InfoSight for Servers ユーザーガイドを参照してください

HPE InfoSight for Servers の機能	未登録のサーバーからアクセス可能
自動ケース作成	アクセス不可能
カスタマーアドバイザー	アクセス不可能
メール通知	アクセス不可能
障害検出機能	アクセス可能
ホットフィックス/プッシュ通知	アクセス不可能
インフラストラクチャサーバー	アクセス不可能
アップロードされたログのリスト	アクセス可能 ¹
手動ケース作成	アクセス可能 ²
Operational ダッシュボード	アクセス不可能
Reports ダッシュボード	アクセス不可能
サーバーログの詳細	アクセス可能
SPP コンプライアンス	Gen9 以降のサーバーでアクセス可能
Wellness ダッシュボード	アクセス不可能

¹ 登録済みサーバーからの AHS ログの一覧表示はサポートされていませんが、HPE InfoSight for Servers は登録済みサーバーの Active Health System ログからの継続的なアップデートを表示します。

² この機能は、有効な保証またはサポート契約があるサーバーで使用できます。

詳しくは

[HPE InfoSight for Servers でのサーバーの登録](#)

Active Health System ログのアップロード

HPE InfoSight 組織のすべてのユーザーは AHS ログをアップロードできます。この機能は、HPE InfoSight for Servers がサポートするすべてのサーバーで使用できます。

❗ **重要:** HPE InfoSight for Servers の高度な機能と分析を活用するには、サーバーを登録します。

前提条件

サーバーには、サポートされているバージョンの HPE iLO5 または HPE iLO 4 がインストールされているだけでなく、サーバーは HPE InfoSight for Servers によってサポートされています。

手順

1. サーバーから、AHS ログをダウンロードします。詳細情報については、使用する iLO バージョンの HPE iLO ユーザーガイドを参照してください。
 - ・ [iLO 5 ユーザーガイド](#)
 - ・ [iLO 4 ユーザーガイド](#)
2. HPE InfoSight にログインします。
3. HPE InfoSight に組織がない場合は、次のようにします。
 - a. 組織を作成します。**Create Organization** ページにアクセスするには、HPE InfoSight の **Welcome** ページの **HPE Server Registration** リンクをクリックします。

Create Organization には、**Settings** アイコンをクリックしてから、**My Organization** をクリックしてアクセスすることもできます。組織の作成について詳しくは、このトピックの最後にあるリンクを参照してください。

組織を作成すると、**Device Enrollment** ページにリダイレクトされます。
 - b. デバイスを登録する代わりに、**Device Enrollment** ページの右側にある **Analyze Log** リンクをクリックします。

Analyze Logs ページが表示されます。
4. 2 つ以上の既存の HPE InfoSight 組織がある場合は、次のようにします。
 - a. 正しい組織に所属していることを確認します。自分の現在の HPE InfoSight 組織はページの右上隅に表示されています。
 - b. **Infrastructure > Analyze Logs** をクリックします。

Analyze Logs ページが表示されます。
5. **Analyze Logs** ページの右上隅の **Upload Log** をクリックします。
6. **Upload Log** ウィンドウで、ファイルをウィンドウにドラッグアンドドロップするか、**Browse for an AHS log** をクリックします。

ログは、以下の要件に適合する必要があります。

- ・ 最大ファイルサイズが 250 MB。
- ・ ファイル名の最大長が 150 文字未満。
- ・ サポートされる文字：
 - 中括弧{}
 - ダッシュ-
 - ドル記号\$
 - 小文字 a-z
 - 数字 0-9
 - 括弧()
 - ピリオド.
 - 角括弧[]
 - アンダースコア_
 - 大文字 A-Z
- ・ ファイルには拡張子 .ahs を付ける必要があります。

7. オプション：**Upload Log** ウィンドウでのアップロードに関するコメントを指定します。

- ・ コメントの最大文字数は 150 文字です。
- ・ サポートされる文字：
 - コロン:
 - 中括弧{}
 - ダッシュ-
 - ドル記号\$
 - 小文字 a-z
 - 数字 0-9
 - 括弧()
 - ピリオド.
 - 角括弧[]
 - アンダースコア_
 - 大文字 A-Z

8. **Upload** をクリックします。

ログがアップロードされると、HPE InfoSight for Servers はファイルに対してウイルススキャンを実行しません。

ログがウイルススキャンに合格すると、ログの情報が **Analyze Logs** ページ (**Infrastructure > Analyze Logs**) に表示されます。



❗ **重要:** アップロードされたログは 28 日間のみ保持されます。

詳しくは

[組織の作成](#)

[HPE InfoSight for Servers でのサーバーの登録](#)

HPE InfoSight for Servers でのサーバーの登録

プロセスの概要

このプロセスを使用し、HPE InfoSight for Servers を使用してサポートされるデバイスを監視するための環境を設定します。各ステップのリンクをクリックすると、詳細な手順に移動します。

前提条件

- ・ 使用する環境が、このソフトウェアソリューションのコンポーネントを使用するための要件を満たしている。
ハードウェアとインストールされているファームウェアおよびソフトウェアが最小要件を満たしていることを確認します。
- ・ HPE パスポートアカウントがある。HPE パスポートアカウントがない場合は、<https://infosight.hpe.com/>の Web サイトで HPE パスポートアカウントを作成し、ログイン認証情報を書き留めます。

手順

1. 初期登録の実行。

登録時にダウンロードリンクとアクティベーションキーを受け取ります。

2. iLO Amplifier Pack のインストール。

このプロセスでは、iLO Amplifier Pack ファイルのダウンロードとインポート、VM の初回の起動を行います。

3. iLO Amplifier Pack の初期セットアップの実行。

このプロセスでは、ネットワーク設定および管理者アカウントを構成します。



ヒント: ようこそ画面が表示されたら、iLO Amplifier Pack 管理アプライアンスの IP アドレスを書き留めます。

4. iLO Amplifier Pack のアクティブ化。

このステップでは、管理アプライアンスにログインし、ライセンスキーを入力します。

5. オプション: iLO Amplifier Pack でのプロキシサーバーの構成。

6. iLO Amplifier Pack によるサーバーの検出。

このステップでは、iLO Amplifier Pack による管理用のデバイスを追加します。

7. HPE InfoSight の初回ログイン。

このステップでは、HPE パスポートアカウントを HPE InfoSight に接続します。

8. HPE InfoSight でのクレームトークンの取得。



ヒント: iLO Amplifier Pack へのクレームトークンの追加準備ができれば、クレームトークンを取得します。クレームトークンを作成する場合、クレームトークンをクリップボードにコピーして、iLO Amplifier Pack に直ちに貼り付けることをお勧めします。

9. iLO Amplifier Pack と HPE InfoSight のリンク。

このステップでは、iLO Amplifier Pack と HPE InfoSight 間の通信リンクを作成します。

サーバーを管理するための前提条件

各 HPE サーバーを HPE InfoSight で管理するための前提条件を以下に示します。

注記: iLO Amplifier Pack を使用してこれらの同じサーバーを管理している（たとえば、ファームウェアアップデートを実行している）場合、<http://www.hpe.com/support/ilo-ap-docs> にある iLO Amplifier ユーザーガイドを参照し、他の前提条件を確認してください。

サポートされているサーバー

iLO 4 および iLO 5 を搭載する以下のサーバーがサポートされます。

- ・ HPE ProLiant Gen8 以降のサーバー
- ・ HPE ProLiant BladeSystem Gen8 以降のサーバー
- ・ HPE Synergy Gen9 以降のコンピュートモジュール
- ・ HPE Apollo Gen8 以降のサーバー
- ・ HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus サーバー
- ・ iLO 5 を搭載した Edgeline および Moonshot サーバーブレード

iLO ファームウェア

- ・ iLO 4 ファームウェア 2.54 以降
- ・ iLO 5 ファームウェア 1.15 以降

注記: Hewlett Packard Enterprise は iLO 5 ファームウェア 1.40 をお勧めしています。

- ・ iLO 5 Gen10 Plus サーバー 2.10 以降
- ・ Edgeline/Moonshot サーバー 2.10 以降の iLO 5
- ・ iLO Amplifier Pack 1.30 以降

Agentless Management Service (AMS)

❗ **重要:** AMS がインストールされていない場合、HPE InfoSight はオペレーティングシステム/ハイパーバイザーまたはアプリケーションのクロススタック分析を提供できません。

- ・ **Gen10 サーバー :**
 - **Integrated Smart Update Tools (iSUT) :** AMS 2.0.0 以降
 - **Linux :** AMS 1.1.0 以降
 - **VMware ESXi:** AMS 11.1.0 以降
 - **Windows :** AMS 1.1.0 以降
- ・ **Gen10 Plus サーバー :**

- **Integrated Smart Update Tools (iSUT)** : 2.5.0
- **Linux** : AMS 2.10 以降
- **Windows** : AMS 2.10 以降
- **VMware ESXi**: 700.3.5.0
- ・ **Edgline/Moonshot サーバードレード** :
 - **Integrated Smart Update Tools (iSUT)** : 該当なし
 - **Linux** : AMS 2.30 以降
 - **Windows** : MS 2.30 以降
 - **VMware ESXi**: MS 2.30 以降
- ・ **Gen9 および Gen8 サーバー** :
 - **Integrated Smart Update Tools (iSUT)** : AMS 2.0.0 以降
 - **Linux** : AMS 2.6.1 以降
 - **VMware ESXi**: AMS 1.1.0 以降
 - **Windows** : AMS 10.7.0 以降

必要な AMS ソフトウェアを取得する方法については、<http://www.hpe.com/us/en/product-catalog/detail/pip.5219980.html> を参照してください。

iLO Amplifier Pack へのアクセスがサポートされているブラウザ

- ・ Google Chrome
バージョン 75.0 以降
- ・ Mozilla Firefox
バージョン 68.0 以降

iLO Amplifier Pack ホストマシンおよびゲスト仮想マシン

ホストマシンが、次のいずれかを実行するためのハードウェア要件を満たしていることを確認してください。

- ・ VMware ESXi Server バージョン 6.0 以上
- ・ Windows Server 2016 または Windows Server 2019 用の Windows ハイパーバイザー
- ・ Red Hat Enterprise Linux および SUSE Linux Enterprise Server 上の KVM

iLO Amplifier Pack ゲスト VM では、ゲスト仮想マシンをホストしているマシンで次のリソースを使用できるようにする必要があります。

- ・ 4 vCPU
- ・ 8 GB の RAM
- ・ 100 GB の空きハードディスクドライブ領域
- ・ 1.0 Gbps のネットワークポート



注記: 2つの 1.0 Gbps ネットワークポート（インターネット用に1つと管理ネットワーク用に1つ）を使用することをお勧めします。ただし、この両方のオプションで同じポートを使用できます。

iLO Amplifier Pack のセットアップ

iLO Amplifier Pack のダウンロード

- ❗ **重要:** iLO Amplifier Pack 1.60 以前を使用している場合、アクティベーションリンクを受信してアプリケーションをインストールする方法については、[iLO Amplifier Pack 1.60 ユーザーガイド](#)を参照してください。
-

前提条件

HPE パスポートログインの認証情報

手順

1. [My HPE Software Center Web ページ](#)に移動し、HPE パスポートログインの認証情報でログインします。
2. Free Software リストから、**Free Software > Family: iLO Amplifier Pack** に移動します。iLO Amplifier Pack タイトルをクリックして、商品説明を表示します。
3. **Download** ボタンをクリックすると、利用可能なバイナリのリストを含む新しいページが表示されます。
4. ローカルディレクトリへのインストール方法に基づいて、適切なファイルをダウンロードします。

VMware ESXi を使用した iLO Amplifier Pack のインストール

前提条件

- ・ VMware ESXi 6.0 以降で構成されたホストサーバー
- ・ 使用可能な最小 RAM が 8GB で VMware vSphere Client またはサポートされている Web ブラウザーがインストールされているノートパソコンまたはデスクトップシステム

手順

1. My HPE Software Center ページのダウンロードリンクをクリックして、VMware ESXi の ova ファイルをダウンロードします。
2. 適切なチェックサム検証ツールを使用して、ファイルのチェックサムを、ダウンロードページにリストされているチェックサム値と比較することによって、ダウンロードした `iLOAmplifierPack_X.XX_vmware.ova` ファイルの整合性を確認します。
3. VMware vSphere Client またはサポートされている Web ブラウザーを使用して、任意の VMware ESXi サーバー（6.0 以降）に接続します。
4. 次のいずれかを実行します。

- ・ VMware vSphere Client を使用している場合は、**File** をクリックし、**Deploy OVF Template** をクリックして、画面に表示される手順に従います。
- ・ Web ブラウザーを使用している場合は、**Create/Register VM** をクリックし、**Deploy a virtual machine from an OVF or OVA file** をクリックして、画面に表示される手順に従います。

注記: HPE では、VM のデプロイオプションを構成するとき、「Thick」ディスクプロビジョニングを選択することをお勧めします。

5. イメージがインポートされたら、VM の電源を入れます。

VM は起動に時間がかかる場合があります。DHCP がサポートされない場合、起動に最大 5 分かかる場合があります。

VM の再起動後、コンソールに初期セットアップ画面が表示されます。

Windows Hyper-V マネージャーを使用した iLO Amplifier Pack のインストール

前提条件

使用可能な最小 RAM が 8GB で Hyper-V マネージャーがインストールされたラップトップまたはデスクトップシステム

手順

1. My HPE Software Center ページのダウンロードリンクをクリックして、Hyper-V マネージャーの zip をダウンロードします。
2. 適切なチェックサム検証ツールを使用して、zip ファイルのチェックサムを、ダウンロードページにリストされているチェックサム値と比較することによって、ダウンロードした `iLOAmplifierPack_X.XX_HyperV.zip` ファイルの整合性を確認します。
3. zip ファイルから `iLOAmplifierPack` フォルダを抽出します。
4. Hyper-V マネージャーで、**操作 > 仮想マシンのインポート** に移動し、先ほど抽出した `iLOAmplifierPack` という名前のフォルダを選択します。

❗ **重要:** 新規アクションを使用して新しい仮想マシンを作成しないでください。

5. 画面に表示される指示に従って、仮想マシンをセットアップします。

注記: 同じイメージ名の仮想マシンがすでに存在する場合、**インポートの種類**の選択ステップで Hyper-V マネージャーの画面にエラーが表示されます。**仮想マシンをコピーする (新しい一意な ID を作成する)** オプションを選択して続行してください。

6. イメージがインポートされたら、VM の電源を入れます。

VM は起動に時間がかかる場合があります。DHCP がサポートされない場合、起動に最大 5 分かかる場合があります。

VM の再起動後、コンソールに初期セットアップ画面が表示されます。



Linux 上の KVM を使用した iLO Amplifier Pack のインストール

手順

1. My HPE Software Center ページのダウンロードリンクをクリックして、KVM の qcow2 イメージファイルをダウンロードします。
2. 適切なチェックサム検証ツールを使用して、ファイルのチェックサムを、ダウンロードページにリストされているチェックサム値と比較することによって、ダウンロードした qcow2 イメージファイルの整合性を確認します。
3. Virtual Machine Manager を起動します。

❗ **重要:** 仮想マシンのストレージには、常に最低 100GB の空き容量が必要です。

4. Virtual Machine Manager のメニューから **ファイル > 新しい仮想マシン** を選択し、新しい VM ウィザードを起動します。
5. 利用可能なオプションから **既存のディスクイメージをインポート** を選択し、qcow2 イメージファイルを抽出した場所を参照します。
6. 画面に表示される指示に従って、仮想マシンをセットアップします。
 - a. **OS タイプ** および **バージョン** は、デフォルトのオプションを使用します。

注記: Red Hat Enterprise Linux 8.0 および SUSE Linux Enterprise Server の場合、**OS タイプ** として **Debian Stretch** (Debian 9) を選択します。

- b. メモリの最小値を 8192MB に、CPU コアの最小数を 4 に設定して、**進む** をクリックします。
- c. 仮想マシン名を指定します。
- d. **Network selection** で、管理 LAN に接続されているネットワークデバイスを選択します。
- e. **Source mode** として、**Bridge** を選択します。
- f. **Customize configuration before install** のオプションを選択します。
- g. **Finish** をクリックします。
- h. iLO Amplifier Pack は、2 つのネットワークインターフェイスで構成する必要があります。**ハードウェアの追加 > ネットワーク** をクリックし、管理 LAN に接続されているネットワークデバイスを選択します。**Source mode** として、**Bridge** を選択します。

❗ **重要:** 2 つのネットワークインターフェイスが追加されない限り、iLO Amplifier Pack のようこそ画面には、アプライアンスの IP アドレスではなく、ローカルホストの IP アドレスが表示されます。また、**アプライアンスのインターフェイスにアクセスできなくなります。**

- i. SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2 の場合にのみ、両方のネットワークインターフェイスの **Device model** に **rtl8139** を選択して、**Apply** をクリックします。
 - j. 表示されたウィンドウで、必要に応じて構成に追加の変更を加えてから、**Begin Installation** をクリックします。
7. 仮想マシンコンソールからアプライアンスが起動するようになります。
VM の起動後、コンソールに初期セットアップ画面が表示されます。

iLO Amplifier Pack の初期セットアップの実行

前提条件

- ・ iLO Amplifier Pack OVF によって展開された VM。
- ・ VM の再起動が完了している。
- ・ Welcome 画面がコンソールに表示されている。

手順

1. Welcome 画面で、**Initial Setup** をクリックします。
2. EULA（エンドユーザー使用許諾契約書）を読み、**Accept** をクリックします。
3. 次のネットワーク設定を入力し、**Next** をクリックします。矢印キーを使用して、設定間を移動し、Enter を使用して、選択した設定を変更します。
 - a. 必要に応じて、NIC 1、NIC 2、または両方を有効にします。
 - b. オプション：DHCPv4 または DHCPv6 を有効または無効にします。DHCP が無効の場合、以下を入力してください。
 - I. 静的な IPv4 または IPv6 アドレスを入力します。
 - II. IPv4 構成の場合はサブネットマスクを、IPv6 構成の場合はプレフィックス長を入力します。
 - III. デフォルトゲートウェイを入力します。
 - c. サーバーの管理に使用する優先設定ネットワークポートを選択します。NIC 1 は、デフォルトで選択されています。

注記: 2 つの NIC が提供されているのは、2 つの個別のネットワーク（https 接続を介して iLO に接続するネットワークと、メールまたは IFTTT サービスを利用するためにインターネットに接続するネットワーク）に iLO Amplifier Pack が接続できるようにするためです。管理ネットワークからインターネットにアクセスできる場合は、2 つ目の NIC を無効にできます。

 - d. オプションです。プライマリの IPv4 または IPv6 DNS サーバーを入力します。
 - e. オプション：セカンダリの IPv4 または IPv6 DNS サーバーを入力します。
4. タイムゾーンおよび NTP 設定を変更するか、デフォルトを受け入れ、**Next** をクリックします。
5. 表示名とパスワードを入力して管理者アカウントをセットアップし、**Finish** をクリックします。

ここで入力するユーザー名とパスワードは、初期の管理者アカウントをセットアップするために使用する認証情報です。初期セットアップが完了したら、iLO Amplifier Pack 管理設定を使用してユーザーを追加できます。
6. 指示が表示されたら **Reboot** をクリックします。

システムが再起動し、Welcome 画面が表示され、iLO Amplifier Pack 管理アプライアンスの IP アドレスが表示されます。

iLO Amplifier Pack へのログイン

前提条件

再起動された VM への iLO Amplifier Pack のインストール。

手順

1. VM コンソールの welcome 画面に示されている IP アドレスにアクセスします。
2. 初期ユーザーアカウントのセットアップ時に入力した認証情報を使用して、iLO Amplifier Pack マネジメントアプライアンスにログオンします。
3. ポップアップに表示される **iLO Amplifier Pack の利用規定** を読みます。OK をクリックして次に進みます。

iLO Amplifier Pack 管理ダッシュボードが表示されます。

インストールの確認

前提条件

- ・ ユーザーの権限
 - Configure Manager with Security
 - Configure Manager
 - Configure User
 - Configure Devices
 - Login

手順

1. ダッシュボードページで、ページの右上隅にある情報アイコンをクリックします。**About** 画面が表示されます。
2. 情報を確認してから、**OK** をクリックします。

Midway サーバー接続の前提条件

- ❗ **重要:** エンタープライズ DNS サーバーがネットワーク外部の外部 DNS 名の DNS クエリを転送しない場合、DNS サーバーを構成して、midway.ext.hpe.com と infosight.hpe.com のエントリーを追加する必要があります。HPE では、将来以下の IP アドレスが変更された場合に接続の問題が発生しないよう、midway.ext.hpe.com と infosight.hpe.com の DNS 名を使用することを強くお勧めします。midway.ext.hpe.com および infosight.hpe.com の DNS 名または IP アドレスを使用して、すべての Midway サーバーへのアウトバウンド通信のファイアウォールを開きます。これらのアドレスは変更される可能性があります。プロキシまたはファイアウォールのインターセプトが構成されている場合、Midway サーバーへの接続のために FQDN または IP アドレスをホワイトリストに登録する必要があります。

2020 年 1 月以降、iLO Amplifier Pack が HPE InfoSight および Midway サーバーと通信するには、次の IP アドレスが開いている必要があります。

IP アドレス	Midway サーバー	Alias
15.211.158.66	s79t0165g.sgp.ext.hpe.com	midway.ext.hpe.com
15.211.158.65	s79t0166g.sgp.ext.hpe.com	midway.ext.hpe.com
15.241.48.100	g9t6659g.houston.hpe.com	midway.ext.hpe.com
15.241.136.80	g4t8660g.houston.hpe.com	midway.ext.hpe.com
15.241.48.252	g9t7158g.houston.hpe.com	midway.ext.hpe.com
15.241.136.208	g4t9581g.houston.hpe.com	midway.ext.hpe.com
15.241.48.251	g9t7157g.houston.hpe.com	midway.ext.hpe.com
15.241.136.219	g4t9666g.houston.hpe.com	midway.ext.hpe.com
15.241.48.253	g9t7213g.houston.hpe.com	midway.ext.hpe.com
15.241.136.220	g4t9667g.houston.hpe.com	midway.ext.hpe.com
15.195.190.96	sh42t0029g.bbn.ext.hpe.com	midway.ext.hpe.com
15.195.190.97	sh42t0030g.bbn.ext.hpe.com	midway.ext.hpe.com
15.195.190.98	sh42t0031g.bbn.ext.hpe.com	midway.ext.hpe.com
15.195.190.99	sh42t0032g.bbn.ext.hpe.com	midway.ext.hpe.com
2620:0:a12:100::106	midway6v6.houston.hpe.com	midway.ext.hpe.com
2620:0:a13:100::108	midway7v6.houston.hpe.com	midway.ext.hpe.com
2620:0:a12:100::109	midway8v6.houston.hpe.com	midway.ext.hpe.com
2620:0:a13:100::109	midway9v6.houston.hpe.com	midway.ext.hpe.com
2620:0:a12:100::110	midway10v6.houston.hpe.com	midway.ext.hpe.com
2620:0:a13:100::110	midway11v6.houston.hpe.com	midway.ext.hpe.com
2620:0:a12:100::111	midway12v6.houston.hpe.com	midway.ext.hpe.com

iLO Amplifier Pack でのプロキシサーバーの構成

プロキシサーバーを使用する場合、iLO Amplifier Pack と HPE InfoSight が通信するように iLO Amplifier Pack でプロキシサーバーを構成する必要があります。

- ❗ **重要:** プロキシサーバーを使用しない場合は、**IP アドレスの構成**を参照し、サイトと HPE InfoSight for Servers 間の通信のために開く必要がある IP アドレスのリストを確認してください。

サイトでプロキシサーバーを使用しない場合は、この手順を省略できます。

前提条件

- ・ ユーザーの権限

- Configure Manager with Security
- Configure Manager

手順

1. iLO Amplifier Pack の左側のナビゲーションメニューで **Configuration and Settings** をクリックし、**Network Settings** をクリックします。
2. **Proxy Configuration** タブをクリックします。
3. **Enable Proxy** チェックボックスをクリックして選択します。
4. <proxy server>の形式で **Proxy Servername** を入力します。
5. プロキシサーバーのポート番号を **Port number** フィールドに入力します。

❗ **重要:** iLO Amplifier Pack と HPE InfoSight の間で HTTPS ポート（443 または別の有効なポート番号）を開く必要があります。

6. オプション：**Enable Secure Proxy Connection** チェックボックスをクリックして選択します。
7. オプション：**Username** および **Password** を入力してプロキシ認証を有効にします。
8. オプション：**Enable Bypass Proxy** チェックボックスをクリックして選択します。
9. オプション：IP アドレス、CIDR 形式の IP アドレスの範囲、またはプロキシ接続を使用しない特定の FQDN を入力します。必要に応じて複数の値を入力できますが、各値はカンマで区切る必要があります。
10. **Save** をクリックして設定を保存します。
11. **Reboot** をクリックして iLO Amplifier Pack アプライアンスを再起動します。

iLO Amplifier Pack によるサーバーの検出

Discovery ページからの単一のサーバーの追加

前提条件

- ・ ユーザーの権限
 - Configure Manager with Security
 - Configure Manager
 - Configure User
 - Configure Devices
- ・ iLO 4 バージョン 2.30 以降が搭載された HPE Gen8 または Gen9 サーバー
- ・ iLO 5 バージョン 1.10 以降が搭載された HPE Gen10 サーバー
- ・ iLO 5 バージョン 2.10 以降が搭載された HPE Gen10 Plus サーバー

手順

1. 左側のナビゲーションメニューから **Discovery** をクリックします。
2. **Add Server** セクションに次の情報を入力します。

- ・ **iLO IP Address** - iLO の IPv4 または IPv6 アドレスまたは FQDN (完全修飾ドメイン名)。
- ・ **Username** - サーバー上の iLO アカウントのユーザー名。
- ・ **Password** - 指定した iLO ユーザーアカウントのパスワード。
- ・ **Server group name (Optional)** - サーバーが所属するサーバーグループを選択します。

3. Add をクリックします。

iLO Amplifier Pack がサーバーの検出およびインベントリプロセスを開始します。

4. オプション: ナビゲーションツリーで **Assets** をクリックし、**Servers** をクリックして、追加したサーバーのステータスを表示します。

Discovery ページからの iLO 連携グループの追加

前提条件

注記: iLO 連携の要件について詳しくは、iLO 連携のユーザーガイド (http://www.hpe.com/support/ilo4_federation_ug_ja) を参照してください。

- ・ ユーザーの権限
 - Configure Manager with Security
 - Configure Manager
 - Configure User
 - Configure Devices
- ・ 専用の iLO NIC が搭載された HPE Gen8、Gen9、Gen10、または Gen10 Plus サーバーで構成されている既存の iLO 連携グループ。サーバーが NIC ポートを共有する場合、iLO 連携はサポートされません。
- ・ iLO 連携設定の以下のマルチキャスト設定により、すべてのサーバーで iLO 連携が有効になっている。

注記: メニューオプションは、Gen8/Gen9 および Gen10/Gen10 Plus で異なります。

- すべてのサーバーで iLO 連携管理およびマルチキャスト検出が有効になっている
- **Multicast Announcement Interval** が **30 seconds** に設定されている
- **IPv6 Multicast Scope** が **Site** に設定されている
- **Multicast TTL** が **255** に設定されている

手順

1. 左側のナビゲーションメニューから **Discovery** をクリックします。
2. **Add iLO Federation Group** セクションで、以下の情報を入力します。
 - ・ **iLO IP Address** - iLO 連携グループのサーバーの IPv4 アドレス。
 - ・ **Username** - 指定したサーバー上の iLO アカウントのユーザー名。
 - ・ **Password** - 指定した iLO ユーザーアカウントのパスワード。

3. Add をクリックします。

指定した iLO システムが複数の iLO 連携グループのメンバーである場合、iLO Amplifier Pack は検出対象のグループを選択するよう求めます。

4. グループを選択して、OK をクリックします。

5. オプション：ナビゲーションツリーで **Assets** をクリックし、**iLO Federation Groups** をクリックして、追加したグループのステータスを表示します。

追加したグループ内の個々のサーバーのステータスを表示するには、ナビゲーションツリーで **Assets**、**Servers** をクリックして、**Filters** メニューから **iLO Federation Groups** をクリックし、グループ名をクリックします。

IPv4 アドレス範囲でのサーバーの追加

前提条件

- ・ ユーザーの権限
 - Configure Manager with Security
 - Configure Manager
 - Configure User
 - Configure Devices
- ・ iLO 4 バージョン 2.30 以降が搭載された HPE Gen8 または Gen9 サーバー
- ・ iLO 5 バージョン 1.10 以降が搭載された HPE Gen10 サーバー

手順

1. 左側のナビゲーションメニューの **Discovery** をクリックします。

2. **Add IPv4 Range** セクションに次の情報を入力します。

- ・ **iLO IP Range** - 範囲の開始および終了 IP アドレス。
- ・ **SSL Port** - iLO と通信するために使用される SSL ポート。
- ・ **Username** - サーバー上の iLO アカウントのユーザー名。
- ・ **Password** - サーバー上の iLO アカウントのパスワード。

注記: IPv4 範囲内のすべてのサーバーに共通する認証情報を使用します。

- ・ **Server group name (Optional)** - サーバーが所属するサーバーグループを選択します。

3. Add をクリックします。

指定したユーザーアカウントを含む、IPv4 範囲内のサーバーが検出され、インベントリが作成されます。

指定したユーザーアカウントがない、IPv4 範囲内のサーバーは、非管理対象サーバーとして追加されません。非管理対象サーバーのユーザーアカウント認証情報を追加するには、iLO Amplifier Pack ユーザーガイドを参照してください。

4. オプション：ナビゲーションツリーで **Assets** をクリックし、**Servers** をクリックして、追加したサーバーのステータスを表示します。

CSV ファイルからのサーバーの追加

前提条件

- ・ ユーザーの権限
 - Configure Manager with Security
 - Configure Manager
 - Configure User
 - Configure Devices
 - ・ iLO 4 バージョン 2.30 以降が搭載された HPE Gen8 または Gen9 サーバー
 - ・ iLO 5 バージョン 1.10 以降が搭載された HPE Gen10 サーバー
 - ・ iLO 5 バージョン 2.10 以降が搭載された HPE Gen10 Plus サーバー
 - ・ 以下を含む CSV ファイルの場所：
 - 次の形式でのサーバーのリスト
<iLO IPv4 or IPv6 addresses or FQDN>, <iLO username>, <iLO password>
 - ヘッダーなし
 - iLO IP アドレスまたは FQDN およびユーザー名フィールド内にブランクなし
 - 49 文字を超えていない iLO FQDN アドレス
- Discovery** ページで **SampleFile.csv** をクリックし、正しい書式の CSV ファイルのサンプルを参照してください。

手順

1. 左側のナビゲーションメニューで **Discovery** をクリックします。
2. **Add from a file** セクションで、**Choose File** をクリックし、使用する CSV ファイルを選択します。
3. オプション：サーバーが所属するサーバーグループを選択します。
4. **Upload** をクリックします。
iLO Amplifier Pack がファイルを処理し、検出およびインベントリプロセスを開始します。
5. オプション：ナビゲーションツリーで **Assets** をクリックし、**Servers** をクリックして、追加したサーバーのステータスを表示します。

HPE InfoSight の初回ログイン

デフォルトでは、組織の最初に登録されたユーザーが管理者として作成されます。

前提条件

HPE パスポートアカウント。

手順

1. HPE パスポートアカウントを使用して <https://infosight.hpe.com/app/login> にログインします。



注記: HPE の電子メールアドレスを持つユーザーは、ネットワークアカウントまたはパスポートアカウントを使用して HPE InfoSight にサインインできます。

- a. 初めてログインするときは、HPE パスポートアカウントに関連付けられたメールアドレスにメールが送信されます。
- b. 自分のメールアドレスにアクセスし、HPE InfoSight への招待メールを開きます。
- c. HPE InfoSight とのメール通信が正常に実行されたことを確認し、ログインするには、**HPE Passport** をクリックします。

HPE InfoSight Terms Of Use が表示されます。

- d. **Accept** をクリックします。**Welcome to InfoSight** ページが開きます。

2. **Register Servers** を選択します。**My Organization** ページが表示されます。

3. 組織名を入力します。

Device Enrollment ページが開きます。

混乱を避けるため、組織の名前は紛らわしくないものにしてください。Hewlett Packard Enterprise では、次の表記を推奨します。会社名または会社名-サブ組織。

必要な場合は、登録済みのサーバーまたはユーザーに影響を与えることなく、後で組織の名前を変更できます。詳しくは、HPE InfoSight for Servers ユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/infosight-servers-docs>) を参照してください。

この組織には、HPE InfoSight で監視するすべてのサーバー装置が含まれます。

4. HPE InfoSight でサーバーを検出し、監視するには、クレームトークンを取得し、iLO Amplifier Pack でトークンをリンクします。

詳しくは

[HPE InfoSight でのクレームトークンの動作](#)

[クレームトークンの取得](#)

HPE InfoSight でのクレームトークンの動作

AHS とハートビート情報を HPE InfoSight に送信するには、HPE InfoSight でクレームトークンを作成して iLO Amplifier Pack に提供し、iLO Amplifier Pack を HPE InfoSight とリンクする必要があります。クレームトークンが入力され、検証されると、すべての監視対象サーバーの HPE InfoSight にデータが自動的に送信されます。

同じパスポートアカウントを使用してすべての iLO Amplifier Pack インスタンスのすべてのサーバーを表示する場合は、後続の iLO Amplifier Pack インスタンスで同じクレームトークンを使用します。

注記: クレームトークンは短期間での利用に適しています。クレームトークンは、有効期限が切れる前に iLO Amplifier Pack にコピーして貼り付けるのに十分な期間だけ持続します。

次の場合には、新しいクレームトークンを生成して登録する必要があります。

- ・ iLO Amplifier Pack と HPE InfoSight をリンクしている :
- ・ 単一の場所または複数の場所に iLO Amplifier Pack のインスタンスが複数あるとき。
- ・ クレームトークンが有効ではなくなったというエラーが発生したとき。

前提条件

- ・ HPE パスポートアカウント
- ・ HPE InfoSight 管理ユーザーアカウント

クレームトークンの取得

前提条件

HPE パスポートログインの認証情報

手順

1. <https://infosight.hpe.com/app/login> にある HPE InfoSight ログインページにアクセスします。
2. HPE パスポートログインの認証情報を入力してログインします。
3. メッセージの掲示と利用規約を確認します。
4. ダッシュボードが表示されます。ギアアイコンをクリックし、**Device enrollment** を選択します。
5. **Servers** タブが表示されていることを確認します。生成されたクレームトークンはこのページに表示されます。HPE InfoSight と正常にリンクするには、このトークンをコピーし、iLO Amplifier Pack の **HPE InfoSight Setup** ページに入力します。

iLO Amplifier Pack と HPE InfoSight のリンク

HPE InfoSight Automatically aggregate managed servers diagnostic information and send to InfoSight for analytics

Connected to HPE InfoSight

For more information regarding HPE InfoSight for Servers, please visit www.hpe.com/servers/infosight.
Please visit <https://infosight.hpe.com/> to obtain a claim token. Please see the [instructions](#) for getting registration done.
Note: HPE recommends minimum iLO 5 firmware 140 and iLO 4 firmware 2.70.

Registration

Enable Service

Claim Token

Data Center Location

Claim Token ID

Tenant Name

Serial Number

Daily AHS Logs Collection

Enable Daily AHS Logs Collection

Daily AHS Logs Collection Start Time (24 hours format)

By automatically downloading and sending diagnostics information to HPE, you agree to have HPE use the data for InfoSight analytics and warranty/support care.
The data that is collected is managed according to the [privacy policy](#).

I Agree to the terms and conditions of HPE InfoSight.

I Agree to send iLO hostname, IP address and server hostname to display in HPE InfoSight.

Sample set of content that is sent automatically to HPE InfoSight backend are as follow

Heartbeat File AHS Telemetry Firmware Telemetry AHS File

前提条件

- ・ ユーザーの権限



- Configure Manager with Security
- Configure Manager
- ・ iLO Amplifier Pack が HPE InfoSight に接続できるように設定された DNS
- ・ ファイアウォールから HPE InfoSight へのアウトバウンド接続が許可されていること
- ・ プロキシ設定（必要な場合）。詳細については、[ネットワークの設定の構成](#)を参照してください。

手順

1. iLO Amplifier Pack の左側のナビゲーションメニューで **HPE InfoSight** をクリックし、次に **InfoSight Setup** をクリックします。
2. **Enable service** チェックボックスを選択して、**Claim Token** および **Data Center Location** エントリーフィールドを有効にします。
3. HPE InfoSight Web サイトで生成された **クレームトークン** を入力します。
4. データセンターの場所を入力します。
5. HPE に送信される診断情報に関する使用条件を読み、同意します。
オプション：適切なチェックボックスを選択して、iLO ホスト名、サーバーホスト名、および iLO IP アドレスをハートビートファイルの一部として HPE InfoSight に送信するように選択できます。
6. オプション：**Enable Daily AHS Logs Collection** チェックボックスを選択して、**Daily AHS Logs Collection Start Time** エントリーフィールドを有効にします。AHS ファイルの日次送信を自動的にスケジュールするために、24 時間形式でカスタムの時間値を入力できます。
7. オプション：リンクをクリックして、HPE に送信されるハートビートファイル、AHS テレメトリ、ファームウェアテレメトリ、AHS ファイルのサンプルについて詳しく調べます。

注記: AHS ログの最大ファイルサイズ制限は 250 MB です。ログが 250 MB を超える場合、iLO 4 をバージョン 2.70 に、iLO 5 をバージョン 1.40 にアップデートします。AHS ファイルのサイズを小さくするには、ファームウェアのアップデート後にサーバーを再起動します。

8. **Confirm** ボタンをクリックして、iLO Amplifier Pack と HPE InfoSight をリンクします。
9. HPE InfoSight の接続ステータスは、ページの上部にあるメッセージに表示されます。リンクに成功すると、次の詳細情報がページに表示されます。
 - ・ クレームトークン ID
 - ・ テナント名
 - ・ シリアル番号
10. iLO Amplifier Pack と HPE InfoSight のリンクを解除する必要がある場合は、**Enable service** チェックボックスをクリアし、**Confirm** をクリックします。
11. または、**Test Connection** ボタンを使用して、iLO Amplifier Pack と `infosight.hpe.com` サーバーおよび `midway.ext.hpe.com` サーバーの間の接続をテストできます。
接続エラーメッセージの解決について詳しくは、iLO Amplifier Pack ユーザーガイドを参照してください。


正常に接続するための IP アドレスの設定方法については、[Midway サーバー接続の前提条件](#)を参照してください。

12. InfoSight 接続の問題を解決できない場合、ネットワーク診断ログをキャプチャして、サポート担当者と共有することもできます。**Diagnose Infosight Connectivity** ボタンをクリックすると、ネットワーク診断ジョブが開始します。

ネットワーク診断ジョブは、次のサブジョブを実行します。

- a. Midway および InfoSight サーバーを解決し、IP リストを照会します。
- b. Midway および InfoSight サーバーへの接続/通信を確認します。
- c. iLO Amplifier Pack と 4 つのランダムな Midway サーバーの間の接続を確認します。
- d. クライアント証明書をキャプチャします。

ジョブの詳細を表示するには、ページの上部にあるメッセージバナーの **Job Status** リンクをクリックし

ます。診断ジョブが終了したら、 をクリックして、**Job status** ページからログをダウンロードします。

ネットワークの設定の構成

次のタブの設定を使用して、iLO Amplifier Pack のネットワークの設定を構成します。

- ・ Network Summary
- ・ Network port 1
- ・ Network port 2
- ・ General Settings
- ・ Proxy Configuration

結果は **Network Summary** タブに表示されます。

iLO Amplifier Pack のネットワーク設定について詳しくは、iLO Amplifier Pack ユーザーガイドを参照してください。



組織とユーザーの管理

組織管理

- ❗ **重要:** このリリースの時点で、同一の HPE InfoSight 組織を使用して、すべての HPE InfoSight 製品のユーザーとデバイスを管理することができます。たとえば、1 つの組織に HPE Nimble Storage、3PAR StoreServe、および HPE InfoSight for Servers デバイスを含めることができます。

- 💡 **ヒント:** 1 つの組織を使用して、すべての HPE InfoSight デバイスを表示します。複数の組織を 1 つの組織にマージして、すべてのユーザーと登録済みデバイスを 1 つの組織にまとめることができます。

組織を統合する理由のいくつかは次のとおりです。

- ・ 複数の組織を誤って作成したが、すべてのデバイスを 1 か所に表示したい。
- ・ 企業が別の会社を買収し、そのデータを企業の組織とマージしたい。

組織の作成

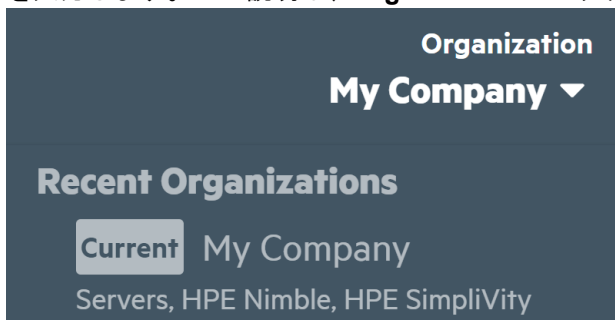
HPE InfoSight にアセットを登録するには、最初に組織を作成する必要があります。組織はユーザーと登録済みデバイスで構成されます。デフォルトでは、組織の最初に登録されたユーザーが管理者として作成されます。

前提条件

HPE パスポートアカウント。HPE パスポートアカウントを作成するには、<https://cf.passport.hpe.com/hppcf/createuser.do> にアクセスします。

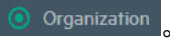
手順

1. **Settings** アイコンをクリックしてから、**My Organization** をクリックします。
2. **Create Organization** をクリックします。
3. 組織名を入力します。
混乱を避けるため、組織の名前は紛らわしくないものにしてください。Hewlett Packard Enterprise では、次の表記を推奨します。会社名または会社名-サブ組織。
必要な場合は、登録済みのサーバーまたはユーザーに影響を与えることなく、後で組織の名前を変更できます。
4. オプション：組織の説明（組織に含まれるデバイスや、それらのデバイスを管理するチームの名前など）を入力します。この説明は、**Organization** セレクターの組織の名前の下に表示されます。



5. **Create Organization and Enroll Device** ボタンをクリックします。

組織が作成されます。これでユーザーおよびデバイスを組織に追加できます。


組織を初めて作成すると、組織名の横の右上隅に緑色のビーコンアイコンが表示されます。  Organization
後でビーコンをクリックして、組織の仕組みを確認できます。

Device Enrollment ページが開きます。

6. **Device Enrollment** ページで製品のタブをクリックします。クレームトークンをコピーし、デバイスを登録するための **Device Enrollment** ページの手順に従います。デバイスは1つの組織にのみ属することができます。

注記: Active Health System ログをアップロードして HPE InfoSight for Servers の機能をプレビューする場合、デバイスを登録する代わりに **Device Enrollment** ページの右側にある **Analyze Log** リンクをクリックします。詳細については、このトピックの最後にあるリンクを参照してください。

7. (オプション) ユーザーを組織に追加するには、**Users** ページ (**Settings>Users**) で **Invite User** をクリックし、追加するユーザーのメールアドレスを入力します。

 **ヒント:** すべてのユーザーが HPE InfoSight にアクセスするには、HPE Passport アカウントが必要です。

a. 役割を選択します。

- ・ **Admin** : 管理者権限を持つ管理者。
- ・ **User** : 読み取り専用アクセス権を持つユーザー。
- ・ **Third Party** : 読み取り専用アクセス権を持つユーザー。この役割には、**User** の役割と同じ権限があります。**Third Party** の役割は、パートナーなどの外部の企業ユーザーに使用されます。

b. **Send Invite** をクリックします。

8. HPE InfoSight for Servers によって自動的に作成されたサポートケースの連絡先を指定します。自動ケース作成を有効にする画面にアクセスするには、**Dashboards** をクリックし、次に **Servers** セクションの **Wellness** を選択します。未登録のサーバーでは、自動ケース作成は利用できません。右上隅で、**Configure Auto Case** ボタンをクリックします。


詳しくは

[Active Health System ログのアップロード](#)

[アップロードされた AHS ログを使用して未登録サーバーにアクセスできる機能](#)

組織のマージ

ある組織のユーザーと登録済みデバイスを別の組織にマージできます。この機能は、ユーザーと登録済みデバイスが複数の組織にわたって割り当てられるのではなく、これらを1つの組織に統合することで、組織を統合するのに役立ちます。

 **ヒント:** 1つの組織を使用して、すべての HPE InfoSight デバイスを表示します。複数の組織を1つの組織にマージして、すべてのユーザーと登録済みデバイスを1つの組織にまとめることができます。

ターゲット組織のユーザーは、自分の役割を保持します。たとえば、ユーザーが元の組織で管理者の役割に割り当てられ、またターゲット組織でユーザーの役割に割り当てられている場合、ユーザーは統合された組織のユーザーの役割に割り当てられます。

電子メール設定は、それらがソース組織またはターゲット組織、あるいはその両方にあるかどうかに関係なく保持されます。

前提条件

元の組織とターゲット組織の管理者の役割が割り当てられている必要があります。

手順

1. **Settings** アイコンをクリックしてから、**My Organization** をクリックします。
2. **Edit** をクリックします。
3. **Merge Organizations** をクリックします。
4. **Source** メニューから組織を選択します。
ソース組織のユーザーと登録済みデバイスは、ターゲット組織にマージされます。ソース組織は完全に削除されます。
5. **Target** メニューからターゲット組織を選択します。
6. **Merge** をクリックします。
組織が統合されます。ターゲット組織の詳細を表示するには、**Settings>My Organization>Show Detail** を選択します。
7. ソース組織内のすべてのユーザーにマージを通知し、ユーザーが新しい組織を認識できるようにします。さらにユーザーの助けとなるように、組織の名前と説明を更新して、変更されたことを伝えます。

組織名の変更

組織の名前を変更しても、登録済みのデバイスや既存のユーザーは影響を受けません。

前提条件

名前を変更する組織の管理者。

手順

1. **Settings** アイコンをクリックしてから、**My Organization** をクリックします。
2. **Edit** をクリックします。
3. 組織の名前を変更します。
混乱を避けるため、組織の名前変更は紛らわしくないものにしてください。Hewlett Packard Enterprise では、以下の命名規則をお勧めします。会社名または会社名-サブ組織。
4. (オプション) 説明を変更します。
5. **Save** をクリックします。
6. 組織内のすべてのユーザーに新しい組織名を連絡します。

組織の削除

組織の削除は永続的ですが、組織内にあったデバイスは、別の HPE InfoSight 組織に再登録できます。

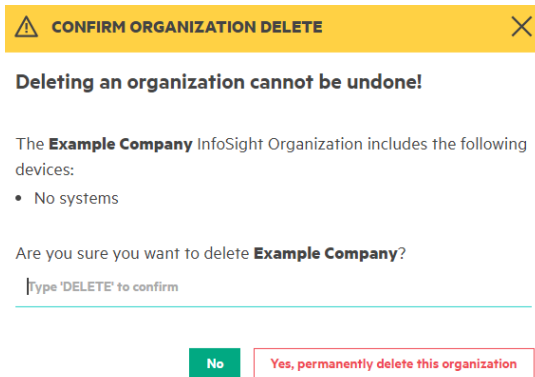
前提条件

- ・ 削除する組織の管理者の役割が割り当てられています。
- ・ 削除する組織内に存在しています。削除する組織が **Organization** セレクターで **Current** と表示されていることを確認します。



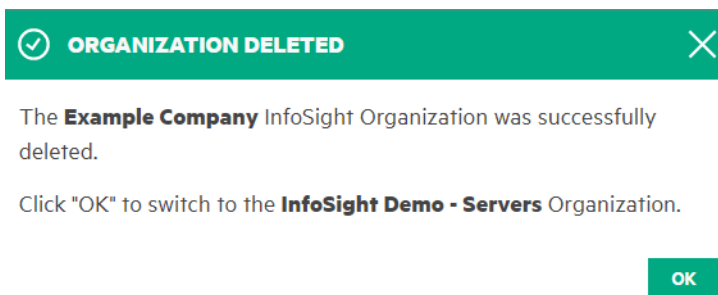
手順

1. **Settings** アイコンをクリックしてから、**My Organization** をクリックします。
2. **DELETE** という単語をすべて大文字で入力します。



3. **Yes, permanently delete this Organization** をクリックします。
4. **OK** をクリックします。

HPE InfoSight は組織を削除し、ユーザーを他の組織の 1 つに移動します。



❗ 重要:

HPE InfoSight 組織を削除した後、iLO Amplifier Pack についての設定などのテレメトリコールホーム設定は、削除された組織にあったデバイスに対して有効のままになります。これらのデバイスのテレメトリデータは引き続き収集されるため、デバイスを別の組織に追加すると、デバイスは HPE InfoSight に最新のデータを表示します。



組織の情報の表示

手順

1. **Settings** アイコンをクリックしてから、**My Organization** をクリックします。
2. **Show Details** をクリックします。表示される情報は以下のとおりです。
 - ・ **Organization ID** - HPE InfoSight によって作成された組織 ID。
 - ・ **Claim Tags** - HPE InfoSight が管理する登録されたデバイスと HPE InfoSight のリンクに対応する内部メカニズム。
3. (オプション) 組織の詳細を非表示にするには、**Hide Details** をクリックします。

組織の検索

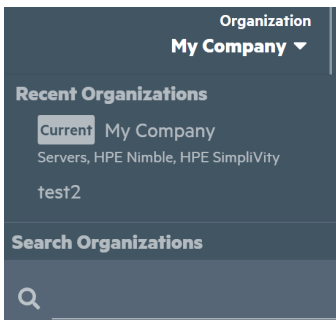
Organization セレクターには、最近アクセスした組織のみが表示されます。他の組織を見つけるには、検索機能を使用します。

前提条件

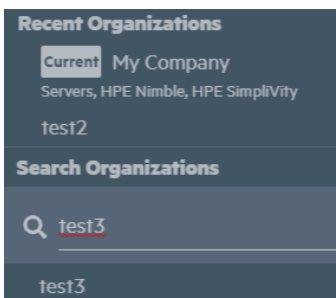
検索する組織のメンバーでなければなりません。

手順

1. **Organization** セレクターをクリックします。



2. 検索フィールドに、検索する組織の名前を入力します。
検索結果には、自分がメンバーであり、検索条件を満たす組織のみが表示されます。



3. 組織を選択します。
選択した組織が現在の組織になります。



ユーザーの管理

HPE InfoSight の初回ログインとデバイス登録手順で使用する HPE パスポートアカウントは、管理者アカウントです。

HPE InfoSight では、管理対象システムを表示するための追加のユーザーアカウントを作成することができます。ユーザーアカウントタイプには、以下が含まれます。

- ・ **Users with read-only access (User)** - このユーザーは HPE InfoSight で組織に関連するシステムを表示できますが、他のユーザーを招待または追加したり組織の名前を編集したりすることはできません。
- ・ **External company users, such as partners (Third Party)** - このユーザーは HPE InfoSight で組織に関連するシステムを表示できますが、他のユーザーを招待または追加したり組織の名前を編集したりすることはできません。
- ・ **Administrators with management privileges (Admin)** - これらのユーザーは、すべてのシステムを表示し、組織をマージおよび削除するだけでなく、次のページからユーザーを管理できます。
 - **Device Enrollment** ページで、デバイスを登録するためのクレームトークンを取得します。
 - **User** ページで、ユーザーを組織に招待するか、組織からユーザーを削除します。管理者が自分自身を組織から削除することはできません。
 - **User** ページで、ユーザーのタイプを変更（たとえば、ユーザーを **Admin** の役割に変更）したり、別の管理者を **User** の役割に変更したりします。管理者が自分自身の役割を変更することはできません。

少なくとも 2 つの管理者アカウントを作成することをお勧めします。これにより、1 つのユーザーがロックアウトされたり、HPE InfoSight へのアクセス権を失ったりしても対応できます。

手順

1. **Users** ページにアクセスするには、右上隅から設定アイコンをクリックし、**Users** をクリックします。
Users ページが表示されます。
2. (オプション) ユーザーを組織に招待するには、**Invite User** をクリックします。詳しくは、[組織へのユーザーの招待](#)を参照してください。
3. (オプション) ユーザーの役割を選択するには、**User Role** メニューからユーザーの役割を選択します。
4. (オプション) テーブルのソート機能やフィルター機能を使用してビューをカスタマイズします。

組織へのユーザーの招待

前提条件

現在の組織の管理者の役割が割り当てられています。

手順

1. **Settings** アイコンをクリックし、**Users** をクリックします。
Users ページが表示されます。
2. **Invite User** をクリックします。
Invite User ウィンドウが表示されます。
3. 追加するユーザーのメールアドレスを入力します。

4. ユーザーロールメニューからユーザーロールを選択します。
5. **Send Invite** をクリックするか、または **Cancel** をクリックして招待をキャンセルします。



ヒント:

新規ユーザーに、HPE InfoSight にアクセスするには HPE パスポートアカウントが必要であることを知らせます。次の URL に移動して、HPE パスポートアカウントを作成できます。<https://cf.passport.hpe.com/hppcf/createuser.do>

HPE InfoSight での組織からのユーザーの削除

前提条件

- ・ ユーザーを削除する組織が現在の組織として選択されています。
- ・ 現在の組織の管理者の役割が割り当てられています。

手順

1. **Settings** アイコンをクリックし、**Users** をクリックします。
2. 削除するユーザーを選択します。
3. **Delete** をクリックします。

注記: ユーザーが HPE InfoSight の別の組織の一部ではない場合、ユーザーアカウントは HPE InfoSight から削除されます。ユーザーは引き続き HPE Passport アカウントを持つこととなります。ユーザーが HPE InfoSight にログインする際は、**New Organization** 画面が表示され、新しい組織の作成が指示されます。


Users ページのカスタマイズ

テーブルのソート

列の見出しをクリックすると、その列でテーブルがソートされます。

表示の昇順と降順を切り替えるには、列の見出しを再度クリックします。

テーブルのフィルター

フィルターにアクセスするには、フィルターする列の見出しで  をクリックします。

トラブルシューティング

iLO Amplifier Pack へのクレームトークンの追加を試みているが、トークンがすでに存在する

症状

iLO Amplifier Pack へのクレームトークンの追加を試みているが、iLO Amplifier Pack にトークンがすでに存在します。

原因

iLO Amplifier Pack は 1 つの HPE InfoSight for Servers 組織にのみ関連付けることができます。

アクション

他のクレームトークンを追加するには、iLO Amplifier Pack の別のインスタンスが必要です。クレームトークンを iLO Amplifier Pack に追加する方法については、[iLO Amplifier Pack と HPE InfoSight のリンク](#)を参照してください。

InfoSight とアプライアンスアップデート接続のトラブルシューティング

ユーザーは iLO Amplifier Pack の **InfoSight Setup** ページの **Test Connection** ボタンを使用して、iLO Amplifier Pack と [infosight.hpe.com](#) サーバーおよび [midway.ext.hpe.com](#) サーバーの間の接続をテストできます。iLO Amplifier Pack が Midway サーバーに正常に接続できない場合、エラーメッセージ付きのバナーがページの上部に表示されます。

ユーザーは **System Update** ページの **Check for updates now** を使用し、iLO Amplifier Pack とアップデートサーバー間の接続をテストできます。iLO Amplifier Pack が Midway サーバーに正常に接続できない場合、エラーメッセージ付きのバナーがページの上部に表示されます。

このセクションは、これらのエラーを解決し、Midway サーバーとの接続を正常に確立するための手引きになります。これらのエラーが解決しない場合は、[Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス](#)に記載されているように、HPE サポートにお問い合わせください。

Invalid midway or DNS address. Check the network settings and retry.

症状

iLO Amplifier Pack の iLO Amplifier Pack 登録ページに「Invalid midway or DNS address. Check the network settings and retry (Midway または DNS アドレスが無効です。ネットワーク設定を確認して再試行してください)」というエラーメッセージが表示されます。

原因

iLO Amplifier Pack が Midway サーバーに接続できないか、DNS アドレスを解決できません。

アクション

iLO Amplifier Pack ユーザーガイドでネットワーク設定の構成を確認して、適切な DNS 設定が使用されていること、および iLO Amplifier アプライアンスが Midway サーバーに接続できることを確認してください。ファ

ファイアウォールを使用している場合は、iLO Amplifier Pack アプライアンスによる接続に制限が適用されていないことを確認してください。

Failed to establish connection to midway server. Check the network settings (Proxy/DNS) and retry

症状

iLO Amplifier Pack の iLO Amplifier Pack 登録ページに「Failed to establish connection to midway server. Check the network settings (Proxy/DNS) and retry (Midway サーバーとの接続を確立できませんでした。ネットワーク設定 (Proxy/DNS) を確認して再試行してください)」というエラーメッセージが表示されます。

原因

ネットワーク設定が正しく構成されていない可能性があるため、iLO Amplifier Pack は Midway サーバーに接続できません。

アクション

プロキシネットワークを使用している場合は、iLO Amplifier Pack ユーザーガイドでプロキシ設定の構成を確認して、それらが正しく構成されていることを確認します。iLO Amplifier Pack ユーザーガイドでネットワーク設定の構成を確認して、適切な DNS 設定が使用されていること、および iLO Amplifier Pack アプライアンスが Midway サーバーに接続できることを確認してください。ファイアウォールを使用している場合は、iLO Amplifier Pack アプライアンスによる接続に制限が適用されていないことを確認してください。

Invalid proxy address

症状

iLO Amplifier Pack の InfoSight Setup ページか System Update ページに「Invalid proxy address (無効なプロキシアドレス)」というエラーメッセージが表示されます。

原因

プロキシ設定が正しく構成されていません。

アクション

プロキシネットワークを使用している場合は、iLO Amplifier Pack ユーザーガイドでプロキシ設定の構成を確認して、それらが正しく構成されていることを確認します。

Failed to establish connection to proxy server. Verify the proxy settings

症状

iLO Amplifier Pack の iLO Amplifier Pack の登録ページに「Failed to establish connection to proxy server. Verify the proxy settings (プロキシサーバーへの接続を確立できませんでした。プロキシ設定を確認してください)」というエラーメッセージが表示されます。

原因

プロキシ設定が正しく構成されていません。

アクション

プロキシネットワークを使用している場合は、iLO Amplifier Pack ユーザーガイドでプロキシ設定の構成を確認して、それらが正しく構成されていることを確認します。

Service not running. Enable/Re-submit the InfoSight Settings.

症状

iLO Amplifier Pack の **InfoSight Setup** ページに「Service not running. Enable/Re-submit the InfoSight Settings(サービスが実行していません。InfoSight 設定を有効化/再送信してください)」というエラーメッセージが表示されます。

原因

iLO Amplifier Pack は Midway サーバーに接続できません。

アクション

iLO Amplifier Pack ユーザーガイドでネットワーク設定の構成を確認して、適切な DNS 設定が使用されていること、および iLO Amplifier アプライアンスが Midway サーバーに接続できることを確認してください。プロキシネットワークを使用している場合は、iLO Amplifier Pack ユーザーガイドでプロキシ設定の構成を確認して、それらが正しく構成されていることを確認します。ファイアウォールを使用している場合は、iLO Amplifier Pack アプライアンスによる接続に制限が適用されていないことを確認してください。

Not Registered

症状

iLO Amplifier Pack の **InfoSight Setup** ページに「Not Registered (登録されていません)」というエラーメッセージが表示されます。

原因

HPE InfoSight サービスが稼働していません。

アクション

HPE InfoSight for Servers の Web ページから新しいクレームトークンを取得し、再び iLO Amplifier Pack を HPE InfoSight for Servers にリンクします。

詳しくは、[HPE InfoSight でのクレームトークンの動作](#)および [iLO Amplifier Pack と HPE InfoSight のリンク](#)を参照してください。



Web サイト

製品の Web サイト

HPE InfoSight のログイン

<https://infosight.hpe.com>

HPE InfoSight

<https://www.hpe.com/info/infosight>

HPE InfoSight for Servers

<https://www.hpe.com/servers/infosight>

HPE InfoSight for Servers ドキュメント

<https://www.hpe.com/support/infosight-servers-docs>

iLO Information Library

iLO 4 および iLO 5

<http://www.hpe.com/info/ilo/docs>

iLO Amplifier Pack

<http://www.hpe.com/support/ilo-ap-docs>

HPE ProLiant Servers Information Library

HPE ProLiant Gen8 サーバー

<http://www.hpe.com/info/proliantgen8/docs>

HPE ProLiant Gen9 サーバー

<http://www.hpe.com/support/proliantgen9/docs>

HPE ProLiant Gen10 サーバー

<http://h17007.www1.hpe.com/us/en/enterprise/servers/solutions/info-library/index.aspx?cat=gen10&lang=1><https://www.hpe.com/info/proliantgen10-docs>

HPE ProLiant Gen 10 および HPE Synergy コンピュートモジュールのトラブルシューティング

<http://www.hpe.com/info/Gen10-troubleshooting>

全般

Hewlett Packard Enterprise Information Library

<http://www.hpe.com/info/EIL>



サポートと他のリソース

Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ・ ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/info/assistance>

- ・ ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

ご用意いただく情報

- ・ テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- ・ 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- ・ オペレーティングシステム名およびバージョン
- ・ ファームウェアバージョン
- ・ エラーメッセージ
- ・ 製品固有のレポートおよびログ
- ・ アドオン製品またはコンポーネント
- ・ 他社製品またはコンポーネント

アップデートへのアクセス

- ・ 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるソフトウェアアップデート方法を確認してください。
- ・ 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター：ソフトウェアのダウンロード

<https://www.hpe.com/support/downloads>

My HPE Software Center

<https://www.hpe.com/software/hpesoftwarecenter>

- ・ eNewsletters およびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- ・ お客様の資格を表示、アップデート、または契約や保証をお客様のプロファイルにリンクするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **More Information on Access to Support Materials** ページに移動します。



- ❗ **重要:** 一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品資格が必要になる場合があります。関連する資格を使って HPE パスポートをセットアップしておく必要があります。

リモートサポート（HPE 通報サービス）

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

リモートサポートおよびプロアクティブケア情報

HPE 通報サービス

<http://www.hpe.com/jp/hpalert>

HPE プロアクティブケアサービス

<http://www.hpe.com/services/proactivecare-ja>

HPE データセンターケアサービス

<http://www.hpe.com/services/datacentercare>

HPE プロアクティブケアサービス：サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts>

HPE プロアクティブケアアドバンストサービス：サポートされている製品のリスト

<https://www.hpe.com/jp/ja/services/proactive-care-central.html>

保証情報

ご使用の製品の保証情報を確認するには、以下のリンクを参照してください。

HPE ProLiant と IA-32 サーバーおよびオプション

<https://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties>

HPE Enterprise および Cloudline サーバー

<https://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties>

HPE ストレージ製品

<https://www.hpe.com/support/Storage-Warranties>

HPE ネットワーク製品

<https://www.hpe.com/support/Networking-Warranties>

規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<https://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACH を含む Hewlett Packard Enterprise 製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/ecodata>

社内プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などの Hewlett Packard Enterprise の環境に関する情報については、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/environment>

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 (docsfeedback@hpe.com) へお寄せください。このメールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。

